

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	簡易懸濁法に関連したインシデントレポートのテキストマイニングを用いた定量的分析
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院薬剤部 一般職 春日井公美
本研究の概要・背景・目的	<p>本研究では、北里大学病院において報告された簡易懸濁法関連のインシデントレポート等を集積し解析を行うことで、対策の必要性が高い事例の原因を明らかにします。本研究の結果により、病院全体において医療の質および安全性の向上に貢献します。</p> <p>*簡易懸濁法とは 錠剤粉砕や脱カプセルせずに、錠剤・カプセル剤をそのまま 55 のお湯に崩壊懸濁させて経鼻胃管、胃瘻、腸瘻より経管投与方法です。</p> <p>*インシデントレポートとは 日常診療の場で、不適切な医療行為などが患者に実施される前に発見されたもの、不適切な医療行為などが患者に実施されたものなどを指します。</p> <p>*テキストマイニングとは 文章から単語を抜き出し、出現頻度やそれらの相関、傾向等を解析する分析手法です。</p>
調査データ 該当期間	2017年4月1日から2023年6月1日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に当院を受診および入院された方(インシデント・アクシデント・グッドレポートに情報が登録されている可能性があります)
研究の方法 (使用する試料等)	2017年4月1日から2023年6月1日までの簡易懸濁法及び経管投与に関するインシデントレポートと、それに付随する電子カルテ情報を使用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、薬学部一般研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>インシデント・アクシデント・グッドレポートの運用について 当院ではインシデント・アクシデントが発生した場合、関与した全職員がインシデント・アクシデント・グッドレポートを報告する運用となっています。レポートは再発</p>

防止策や医療システムの改善に使用し、集積したデータは、医療の質の評価指標などに活用されています。記載項目等詳細は当院ホームページ内「北里大学病院医療に係る安全管理のための指針」
https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/download/section/bumon/iryonoshitsu_01.pdf
をご参照ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:北里大学病院 薬剤部 一般職 (北里大学薬学部 助教)

担当者:春日井 公美(カスガイ クミ)

電 話:042-778-8089